

教育研究業績書

2017年10月20日

所属：日本語文化学科

資格：教授

氏名：西山 明美

研究分野	研究内容のキーワード
芸術（書道）	良寛の書と芸術
学位	最終学歴
文学士	佛敎大学 文学部 国文学科 卒業

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
2 作成した教科書、教材		
1. 電子教材「変体仮名の書き方」	2006年10月	「変体仮名」の筆法をビデオカメラで撮影し、Mo aで電子教材を開発した。『あ』行『わ』行中の「い」と「え」の表記の違いも書き分け、現代発音での音声も加えている。留学生も参考にできるよう工夫している。
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他		

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 資格、免許		
2 特許等		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他		

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
1. 『新古今集 四季の歌』	共	2017年3月10日刊行	芸術新聞社	新古今和歌集より四季の和歌を選歌して、幻想的な四季の情景を写す雅な料紙に書き付けた幽玄の美の世界 新古今和歌集の504番 朝恵法師、523番 中務卿具平親王の和歌を担当。表現した書作品とその解説を見開きページに著わす。
2. 『万葉の恋』	共	2017年3月7日刊行	淡交社	『万葉集』に綴られた恋の和歌40首の解説と書と篆刻を楽しみ学べる書として、わかりやすく読み解いていく
3. 『古今集 花の歌』	共	2015年12月10日	芸術新聞社	古今和歌集の250番 文屋やすひで、254番 読み人知らずの和歌を担当。表現した書作品とその解説を見開きページに著わす。
4. 『万葉の四季』	共	2014年02月22日刊行	淡交社	『万葉集』に載る、四季を詠った50首の和歌の解説と書の手引きをわかりやすく読み解いていく
5. 『100人で百人一首 ー散らし書き 百花繚乱ー』	共	2014年01月09日	芸術新聞社	『百人一首』の77番、崇徳院の和歌を担当。書作品とその解説を見開きページに著わす。
6. 『良寛の芸術 ー書と詩歌ー』	単	2010年06月刊行	武蔵野書院	現存する良寛の書簡269通をもとに良寛の芸術を考察した。漢詩423首、和歌1398首からみる真の良寛の内奥を探った。 何の銜もなく表現した良寛の「卒意の芸術」の世界を、細かく分析しながら詳解したものである。
7. 書 ー中国の部ー	共	2007年04月	書学研究会	中国書道上の主要古典作品を時代順に編集している。基本的な筆法を加えたもの。
8. 書 ー日本の部ー	共	2004年10月	書学研究会	日本書道史上の主要古典作品を時代順に編集している。基本的な筆法などの説明を加えたもの、
9. 年賀状の手本	共	2002年10月	一東書道会	藤田朱雀・（西山明美）他 全（P.32）担当（PP.14～16） 年賀状の手本 並びに心得など説明
10. 新 『書』	共	2002年04月	書学研究会	中国の書道史上の主要古典および日本の書道史上の

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
11. 書	共	1998年04月	書学研究会	主要古典を編集 中国、日本における書道史上有益な古典を網羅し解説したもの。
2 学位論文				
3 学術論文				
1. 良寛 情 [こころ] の書	単	1995年03月	書道研究 一東216号 6頁	書は人なり、良寛書の評価が高まる現代であるが、その要因を追及 (pp. 2-7)
その他				
1. 学会ゲストスピーカー				
1. 『万葉の恋』所収の万葉歌の解説	共	2017年7月2日	谷崎潤一郎記念館	古代人のこころを今に伝える「万葉集」から代表的な恋の歌を選歌して執筆した『万葉の恋』所載の和歌を料紙や帯などに散らし書きした作品の解説やパフォーマンス。いつの時代も変わらない恋の歎びと哀しみを考察しながら「万葉集」の楽しみ方をわかりやすく解説した。
2. 『万葉の四季』所収の万葉歌の解説	共	2014年11月02日	谷崎潤一郎記念館	『万葉の四季』（淡交社刊）の執筆者である藤田朱雀（西山明美）・樋口百合子による万葉歌の解説と書き方などについて講演。また最後に万葉歌を樋口百合子が冷泉流にて披講（朗詠）し、それに合わせて藤田朱雀が書をパフォーマンスした。
2. 学会発表				
1. e-Learningを活用した書道教育の試み	単	2007年09月		日本書道に不可欠の「変体仮名の書き方」を一文字づつ毛筆で書いている様子を撮影。筆遣いや運筆がよく理解でき、課外時間でも学生が独習することが可能な教材に編集、制作したものである。また、仮名の発音を現代音声で取り込み、ローマ字表記も加え、留学生でも活用できるよう工夫している。
2. 元永本『古今和歌集』の雅の世界	共	2005年02月		徳原 茂実 「元永本古今和歌集」を書芸としての側面を中心に『雅の世界』を考察した。元永本古今集は美しい料紙に書かれたものである。手習いのための写本ではなく、芸術作品の作成を目指した。栄華を誇った貴族たちが古今集に対する理解を芸術的に表現しようとした結果である。
3. 『仮名を書く』 一元永本古今和歌集の場合	単	2003年02月		元永時代の考証と元永本古今集の解説。その書風を表現できるように文字造形の考察。元永本古今集に書かれた書風を理解して丁寧な臨書。表現するべき和歌を決め原本より集字して倣書。この倣書作品を参考に文字集団と余白の調和など加味しながら、作品構成を考察しつつ推敲を重ね仕上げていく。
4. 良寛を巡る人々	単	1995年10月		良寛の村の人々との交わりは、逸話、和歌、漢詩からも心温かい様子が伝承されている。越後人の人情の厚さは200余年を経ても変わらず、良寛を慕う現代の心と通じあうものがある。その地盤に支えられた良寛書芸としての和歌、漢詩、書等々について考察していった。
5. 良寛と童	単	1994年10月		逸話にみる良寛と童のかかわりから、童にかかわらざるを得なかった良寛の心奥をさぐる。
3. 総説				
4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
1. 尼崎秀作美術展	単	2015年02月	尼崎芸術文化協会	卷子本。『万葉集』所載の和歌より三十五首を全長4mに纏めたもの
2. 万葉の四季を書く	単	2014年11月	個展 谷崎潤一郎記念館	『万葉の四季』（淡交社刊）所載の四季を詠った50首の和歌の解説と書の手引きをわかりやすく解説した著書に掲載のうち三十点の作品を展示。
3. 尼崎秀作美術展	単	2014年02月	尼崎芸術文化協会	折帖。万葉集より三十二首を纏めたもの。
4. 全国大学書道学会展	単	2013年10月	群馬大学	『古今和歌集』より一首。
5. 千年前の日本の貴族の書の世界	単	2013年09月	個展 パリにて	平安時代の雅な書の世界を展開。 源氏物語の和歌を舞扇、帯、羽子板、掛け軸等々に表現。
6. 読売書法展	単	2013年08月	読売新聞社	卷子本。『源氏物語』所載の和歌より三十三首を全長4mに纏めたもの。
7. 尼崎秀作美術展	単	2013年02月	尼崎芸術文化協会	折帖。『万葉集』所載の和歌より秋の和歌二十八首表現して纏めた。
8. 全国大学書道学会展	単	2012年10月	京都教育大学	『古今和歌集』より 紀貫之の和歌一首
9. 読売書法展	単	2012年08月	読売新聞社	『よしの川』折帖（古今和歌集より夏の和歌30首）

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
10. 日本書芸院四月展	単	2012年04月	日本書芸院（社団法人）	『鶯』2×8尺 横額 鶯の歌3首表現（万葉集より）
11. 藤田朱雀書作展	単	2012年03月	個展 暁雨館（四国中央市）	『正岡子規』・『小林一茶』暁雨館にゆかりのある人の句や和歌と『源氏物語』所載の和歌を表現して書の侘び、寂びと雅な華やかな世界を表現。
12. 尼崎秀作美術展		2012年02月		
13. 尼崎書人会展		2011年11月		
14. 読売書法展		2011年08月		
15. 日本書芸院四月展		2011年04月		
16. 尼崎秀作美術展		2011年02月		
17. 全国大学書道学会書道展		2010年10月		
18. 尼崎書人会展		2010年10月		『希望』古今集の和歌、30首を25×17センチの料紙14枚に表現して折帖にまとめたものを発表。
19. 読売書法展		2010年08月		『夕月』折帖 新古今和歌集より 33首
20. 生活美術の書展		2010年05月		『梅が枝』几帳 源氏物語「梅が枝」の巻より、和歌1首
21. 日本書芸院四月展		2010年04月		『さを鹿』2尺×8尺（額） 万葉集より 3首
22. 尼崎秀作美術展		2010年02月		『春の香』折帖 古今和歌集より 37首
23. 良寛と貞心尼の相聞歌を書く		2009年11月	個展 谷崎潤一郎記念館	良寛と貞心尼が贈りあった和歌、『蓮露』という相聞歌より選歌して額、軸作品を制作して発表。
24. 一東書道会全国展		2009年11月		『希望』3尺×8尺 額装 万葉集より3首
25. 日展		2009年11月		『雪』卷子 万葉集より32首
26. 全国大学書道学会書道展		2009年10月		作品『あき』額 万葉集より
27. 尼崎書人会展		2009年10月		作品『初音』折帖 源氏物語 卷二十三「初音」抄
28. 読売書法展		2009年08月		作品『時鳥』卷子仕立て 全長4メートル 古今和歌集 夏の部より 35首。
29. 生活美術の書展		2009年05月		作品『和』古今和歌集より、春のうた2首を、訪問着に染料で書いた。
30. 兵庫県書道展 役員展		2009年05月		兵庫県書作家協会 創立60周年記念役員展
31. 日本書芸院四月展		2009年04月		『明石』額 源氏物語 卷十三 「明石」より1首
32. 兵庫県書道展－評議員・委員展－		2009年02月		『手毬』2尺×6尺の横額作品。 良寛の和歌1首。 「この宮の森の木下に子供らと手毬つきつつこの日くらしつ」
33. 尼崎秀作美術展		2009年02月		『春のうた』 2×6 額装 古今和歌集 春部より3首
34. 『書の王朝絵巻』 源氏物語を書く		2008年12月	個展 谷崎潤一郎記念館	源氏千年紀の締めくくりの12月に、源氏物語をテーマにして、源氏54帖から和歌を各帖1首選出して、額、軸、着物、帯、蛤で54組の貝合わせ、等々に制作した作品を発表した。
35. 一東書道会全国展		2008年11月		『実り』額装 3尺×8尺作品 万葉集より 和歌2首
36. 日展		2008年11月		『夢』卷子 万葉集より30首
37. 全国大学書道学会書道展		2008年09月		作品『童』額 良寛歌
38. 尼崎書人展		2008年09月		作品「初雁」折帖。 万葉集より、36首。
39. 読売書法展		2008年09月		作品『恋』卷子。 新古今集より40首。
40. 生活美術の書展		2008年05月		作品『たのしみ』ガラスのプレートに制作。（ガラス40cm×40cm） 与謝野晶子の句を1首。
41. 日本書芸院4月展		2008年04月		作品「たび」 2×8尺 額装。 山家集より 5首。
42. 『源氏物語の世界を書く』	単	2008年03月	個展	一書の王朝絵巻一

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
43. 兵庫県書道展－評議員・委員展－ 44. 尼崎秀作美術展 45. 一東書道会全国展 46. 日展 47. 全国大学書道学会 48. 尼崎書人展 49. 読売書法展 俊英賞 50. 日本の書展 51. 生活美術の書展 52. 日本書芸院 四月展 53. 尼崎秀作美術展 54. 兵庫県書道展－評議員・委員展－ 55. 日展 入選 56. 一東書道会全国書道展 57. 尼崎書人会展 58. 全国大学書道学会 59. 韓国光州ビエンナーレ ー芸術の祭典ー 60. 読売書法展 読売新聞社賞 61. 第5回 書法文化書法教育国際会議 62. 生活美術の書展 63. 日本書芸院 四月展 64. 日本の書展 65. 一東書道会代表作家展 66. 尼崎秀作美術展		2008年02月 2008年02月 2007年11月 2007年11月 2007年11月 2007年10月 2007年08月 2007年06月 2007年05月 2007年04月 2007年02月 2006年11月 2006年11月 2006年11月 2006年10月 2006年10月 2006年09月 2006年08月 2006年07月 2006年05月 2006年04月 2006年03月 2006年03月 2006年02月	ギャラリーShima	源氏物語五十四帖の各帖より1首抜粋して54首の和歌を着物・帯・舞扇・卷子・折帖・貝合わせetc.の作品を発表。 『夢』 2×6尺 額装 万葉集から3首創作 作品「雅」 折帖。 源氏物語より2首抜粋。 作品「実り」 3×8尺 額装。 万葉集より5首抜粋。 作品 「こひ」 卷子仕立。 万葉集より 35首抜粋。 作品「和」半切 額装。 与謝野晶子の和歌より。 作品 「花」 2×8尺 額装。 良寛和歌より3首抜粋。 作品「もみぢ」 卷子仕立て。 万葉集より38首抜粋。 『若菜』 2首 額装 源氏物語「若菜」の巻より 作品 『梅枝』 (几帳)に仕立て発表。 源氏物語の「梅が枝」の巻より1首抜粋。 作品「桜花」 (2尺×8尺) 額装 発表 古今和歌集より4首抜粋 『桐壺』 2尺×6尺 額装 源氏物語より 『志賀の唐崎』 万葉集より2首 2尺×3尺 (60cm×180cm) 額装 『空』 (くう) 古今和歌集 35首 卷子 『旅』 古今和歌集より3首 3尺×8尺 (90cm×240cm) 額装 『希望』 万葉集より30首 折帖 『ゆめ』 半切 軸装 『かな書之美』をテーマに兵庫県書作家の仮名作家、一東書道会を中心に代表作家展を開催した。 『さくら』 古今和歌集より 30首 折帖 『こころ』 新古今集より36首 卷子 『ほととぎす』 半切 軸装 2年に1回行われている書法国際会議である。 本年、安田女子大学にて、日本で初めて開催された。 次回は台湾大学が開催校である。 作品展の部では、上記を出品。 『悠々』 風呂先屏風 万葉集より 5首 『山桜花』 古今和歌集より 3首 2尺×3尺 額装 『梅の花』 万葉集より 3首 2尺×6尺 額装 『ふるさと』 「いづこより春は来しぞとたづぬれば こたへるはなに うぐひすのなく」 良寛のうた 1首 額装 『若菜』 良寛歌集より 3首 2尺×6尺 額装

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
67. 一東書道会全国書道展		2005年12月		『恋のうた』 新古今集より 3首 60 180 (2尺 6尺) 額装
68. 尼崎書人会展		2005年11月		『万葉のうた』 万葉集より 3首 2尺×6尺 額装
69. 兵庫県書道展一評議員・委員展一		2005年11月		『夕景』 古今和歌集より 3首 (2尺 6尺) 作品 額装
70. 社団法人 日展 入選		2005年11月		『悠』 山家集より 32首 折帖
71. 全国大学書道学会		2005年09月		『やまびこ』 半切 1/2 軸装
72. 読売書法展		2005年08月		『みやび』 古今和歌集より 33首 折帖
73. 生活美術の書展		2005年05月		『はる』 与謝野晶子の和歌を5首 料紙箱 (50cm×70×40) (たて×たかさ×奥行)
74. 日本書芸院		2005年04月		『西行のうた』 3首 2尺×6尺 額装
75. 日本の書展		2005年03月		『こころ』 古今和歌集より 2首 額装
76. 一東書道会代表作家展		2005年03月		『愛』 万葉集より 1首 額装
77. 尼崎秀作美術展		2005年02月		『み吉野の』 古今和歌集より 2首 2尺×6尺 額装
78. 尼崎書人会展		2004年12月		『草枕』 良寛の和歌より 3首 2尺×6尺 額装
79. 一東書道会全国書道展		2004年12月		『もみぢ』 万葉集より 2首 3尺×8尺 額装
80. 兵庫県書道展		2004年11月		『山里』 山家集より 3首 2尺×6尺 額装
81. 日展 入選		2004年11月		『華』 源氏物語中の和歌 30首 折帖 仕立て
82. 全国大学書道学会		2004年10月		『鳴戸』 半切 1/2 軸装
83. 読売書法展		2004年08月		『緑陰』 古今和歌集より 32首 折帖仕立て
84. 生活美術の書展		2004年05月		『四季』 季節の和歌4首 新古今集より 衝立 仕上げ
85. 日本書芸院 四月展		2004年04月		『春』 良寛の和歌 3首 (2尺 × 3尺) 額装
86. 日本の書展		2004年03月		『慈愛』 良寛歌集より 5首 2尺×6尺 額装
87. 一東書道会代表作家展		2004年03月		『扇』 万葉集より 1首 額装
88. 尼崎秀作美術展		2004年02月		『あけぼの』 枕の草子より 2尺×8尺 額装
89. 一東書道会全国書道展		2003年12月		『情(こころ)』 良寛歌集より 3首 3×8尺 額装
90. 尼崎書人会展		2003年11月		『もみぢ』 良寛歌集より 2首 2×6尺 額装
91. 兵庫県書道展		2003年11月		『大空』 良寛歌集より3首 2尺×6尺 額装
92. 日展		2003年11月		『はるかなる』 新古今和歌集より 32首 折帖
93. 全国大学書道学会		2003年10月		『秋』 与謝野晶子の歌を 1首 軸装
94. 読売書法展		2003年08月		『をみなえし』 古今和歌集より 30首 折帖仕立て

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
95. 生活美術の書展		2003年05月		『天離る』 万葉集より 8首 隅立て屏風に仕立てる
96. 日本書芸院 四月展		2003年04月		『行く春』 万葉集より 3首 2尺×8尺 額装
97. 日本の書展		2003年03月		『桐壺』 額 源氏物語 「桐壺」の巻きより 1首
98. 一東書道会 代表作家展		2003年03月		『空蟬』 茶掛 源氏物語「空蟬」の巻きより 1首
99. 尼崎秀作美術展		2003年02月		『うぐひす』 卷子 西本願寺36人集（伊勢集）より 30首
100. 一東書道会全国展		2002年11月		『秋の夕暮れ』 額装 2尺×8尺 万葉集より5首
101. 全国大学書道学会		2002年11月		『ひかり』 山家集より 1首 半切 軸装
102. 兵庫県書道展 一評議員・委員展		2002年11月		『鹿のこえ』 万葉集より 3首 2尺×6尺 額装
103. 日展 入選 『芳和』		2002年11月		『芳和』折帖 古今和歌集より28首
104. 尼崎書人会展		2002年10月		『花』 2尺×6尺 額装 古今和歌集より3首
105. 読売書法展		2002年08月		『十五夜』 卷子 万葉集より 三十首
106. 生活美術の書展		2002年05月		『さくら』 新古今和歌集より 2首 暖簾 に表現（暖簾に書く）
107. 日本書芸院 四月展		2002年04月		『いにしへの』 万葉集より 3首 2尺×8尺 額装
108. 社団法人 日本書芸院二月展、日本書芸院大賞		2001年02月		
109. 社団法人、日展、入選		2000年11月		
110. 社団法人 日本書芸院二月展、日本書芸院大賞		2000年02月		
111. ゆめ（帖）		1999年11月		“日展” 於東京都美術館 社団法人日展
112. 希望（帖）		1999年08月		“読売書法展” 於京都市美術館 読売新聞社
113. 良寛歌（額装）		1999年05月		“兵庫県書作家協会50周年夢書展” 於神戸大丸 兵庫県書作家協会
114. 古今和歌集抄（額）		1999年02月		“日本書芸院二月展” 於OMMビル 社団法人日本書芸院 日本書芸院大賞受賞
115. ことほぎのうた（額）作品発表（日本書芸院二月展）		1998年02月		
116. 恵方（額）作品発表（尼崎芸術文化協会展）		1998年02月		
117. もみぢ（帖）作品発表（全国一東書道会展）		1997年12月		
118. 年の始（額）作品発表（尼崎書人会展）		1997年12月		
119. 賀のうた（額）作品発表（兵庫県書作家協会役員展）		1997年12月		
120. 古今和歌集夏歌抄（帖）作品発表（社団法人日展）		1997年11月		
121. ほととぎす（帖）作品発表（読売書法展）		1997年08月		
122. 良寛歌（軸）作品発表（一東書道会生活美術展）		1997年05月		
123. 梅（額）作品発表（日本書芸院二月展）		1997年02月		
124. 鶴亀（額）作品発表（尼崎芸術文化協会展）		1997年02月		
125. 古今和歌集冬歌抄（折帖）作品発表（全国一東書道会展）		1996年12月		
126. 春のおとづれ（軸）作品発表（兵		1996年12月		

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
庫県書作家協会役員展)				
127. 春のころ (額) 作品発表 (尼崎 書人会展)		1996年12月		
128. 吉野川 (折帖) 作品発表 (社団法人 日展)		1996年11月		
129. 古今和歌集夏歌抄 (折帖) 作品発表 (読売書法展)		1996年08月		
130. 方丈記抄 (横額) 他4点作品発表 (菁莪展)		1996年08月		
131. 百人一首 (卷子本) にて作品発表 (一東書道会生活美術展)		1996年05月		
132. 『安倍仲麿のうた』作品発表		1996年02月		
133. 『唐国のうた』作品発表		1995年12月		
134. 『明けの春』作品発表		1995年11月		
135. 『旅人』作品発表		1995年08月		
136. 日本書芸院四月展 特別賞		1995年03月		山家集より (1995年3月28日～4月1日)
137. 読売書法展特別賞		1994年08月		古今和歌集より祝の歌を
138. 兵庫県書道展		1993年03月		古今集より 春の和歌12首 2尺×1尺 (横額) 特別賞
139. 書芸院四月展		1993年03月		山家集より 1尺×12尺 (卷子) 特別賞
140. 一東書道会展		1992年12月		古今集より冬の和歌10首 2尺×6尺 (横額) 奨励 賞
141. 日本美術展覧会展		1992年11月		古今集より秋の和歌18首 2尺×7尺 (横額)
142. 読売書道展		1992年08月		古今和歌集より15首 (夏の和歌) 2尺×6尺 (横 額) 秀逸賞 (1992年8月20日～28日)
143. 良寛歌 夏歌1首		1992年05月		一東書道会展 縦2尺×1尺
144. 良寛歌 春歌1首		1992年04月		日本書芸院4月展 横2尺×1尺
145. 良寛歌 8首		1992年03月		兵庫県書道展 横2尺×6尺
146. 古今和歌集より 30首		1991年12月		一東書道会展 横2尺×6尺
147. 古今和歌集 秋歌		1991年11月		日展 横2尺×6尺
148. 古古今和歌集 序抄		1991年08月		読売書道展 横3尺×6尺
149. 良寛と手毬と書		1991年08月		滴水 36号 良寛は子供達と遊ばずにはいら れなかった時代背景。今日遊ぶ子供は明日売られて いくやも知れぬ……。過酷な田沼時代。度重なる大 地震、風水害、早ばつという大自然の裏切り、信濃 川の氾濫に泣き地を這いまわった農民、漁民達、そ の子供達を忘れてはならない。借金と上納に苦しむ どん底暮らしの貧農の子供娘達の身売りはさげられ ない実情、群馬県の大通寺には越後からの飯盛女た ちが葬られている。良寛は、権力を体制を世俗を矛 盾を貧困を差別をしかと嗅ぎとり、子供と戯れず にはいられなかった、その心情が書風にも表現され るのである。
150. 新古今和歌集 10首		1991年04月		一東書道会展 縦2尺×6尺
151. 良寛歌 (月と兎) 全		1991年03月		兵庫県書道展 横2尺×6尺
152. 良寛歌より 3首		1990年12月		一東書道会展 横2尺×6尺
153. 良寛歌 (手毬) 2首		1990年11月		日展 横2尺×6尺
154. 新古今集より 3首		1990年08月		読売書法展 横2尺×6尺
155. 古今集より 1首		1990年05月		一東書道会展 横2尺×6尺
156. 万葉集より 15首		1990年04月		日本書芸院四月展 横2尺×6尺
157. 万葉集より 10首		1990年03月		兵庫県書道展 横2尺×6尺
158. 良寛冬歌より 八首		1989年12月		一東書道会展 横2尺×6尺
159. 良寛夏歌より 五首		1989年08月		読売書法展 横2尺×6尺
160. 良寛歌より 春歌		1989年04月		日本書芸院四月展 縦2尺×6尺
161. 古今和歌集 20首		1989年03月		兵庫県書道展 横2尺×6尺
162. 方丈記より		1988年12月		一東書道会展 (横) 1尺×10尺一帖
163. 良寛つれづれ		1988年11月		良寛 (季刊誌年二回) 第14号 特集 一教育者 からみた良寛 一 良寛の墨蹟、書簡等より教訓を うける作品等例にあげ良寛の姿をさぐっていく。
164. 良寛歌 一首		1988年10月		良寛生誕230周年顕章記念『「良寛・ころの書」現 代書象墨聚』に作品揮毫及び解説
165. 良寛歌より 三首		1988年08月		読売書法展 横2尺×6尺
166. 山家集より 三首		1988年03月		兵庫県書道展 横2尺×6尺
167. 社団法人 日展 入選				2002. 11. 2~11. 24

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
				『芳和』 古今和歌集から35首 折帖仕上げ
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
1. 未来、自分の未来		2017年5月2日	愛媛県立土居高等学校	タイミングを生かす、目標を持つ意味など、自分の未来を考え、今後の高校生活や人生に役立ててほしいという講和
2. 「西安碑林の調査、研究」 中国西安にて。 中国の書道家との研究会 西安碑林（陝西省博物館）の碑や、まだ屋外にあると推定される碑の調査研究を行う事となった。 今夏、第1回実施。		2006年		
3. 『小大君と香紙』 小大君が香紙に書き付けた「香紙切」は、これまで、防虫効果のため、というのが通説である。しかし、角度を変えれば他の考えも成立する。 書道研究「一東」5号314号 掲載		2003年		
6. 研究費の取得状況				

学会及び社会における活動等

年月日	事項
1. 2012年10月	全国大学書道学会
2. 2012年08月	読売書法会
3. 2012年04月	日本書芸院
4. 2012年03月	兵庫県書作家協会